

## 「環境配慮設計等に関する意見交換会」（経過報告）

※「中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会プラスチック製容器包装に係る再商品化手法専門委員会及び産業構造審議会環境部会廃棄物・リサイクル小委員会容器包装リサイクル WG プラスチック製容器包装に係る再商品化手法検討会合同会合」の「プラスチック製容器包装の再商品化手法及び入札制度の在り方に係るとりまとめ」の中に以下の考え方が示された。

### ○ 関係者間の対話を通じた環境配慮設計・見える化の推進

容器包装の製造時の環境配慮設計と分別排出・収集を容易にする表示の工夫を進めることが可能かどうか検証するため、まずは、これらの課題について特定事業者、再商品化事業者、再商品化製品利用事業者、市民、市町村等の関係者が個別具体の事例を元に意見を整理する場を容リ協が設けることとする。

※ これを受け、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会で、以下のように「環境配慮設計等に関する意見交換会」を設定した。

#### 1. 目的

- ① 現行のプラスチック製容器包装について、その材質や構造が自治体・再商品化事業者のリサイクル現場においてどういった影響を与えているのか等の情報提供  
自治体・再商品化事業者 → 特定事業者への情報提供
- ② 容器包装设计／材料選択における特定事業者の環境配慮を中心とした考え方の相互理解促進  
特定事業者(容器製造・利用事業者) ⇔ 自治体・再商品化事業者・市民・流通事業者 等
- ③ 現在の識別表示について、自治体、市民、(再商品化事業者)からの改善希望  
自治体・市民・再商品化事業者 → 国、特定事業者への情報提供

#### 2. 会議の位置づけ

- ① 関係する各主体が「1. 目的」記載の内容を共有化する場とする。
- ② 共有された情報は各主体が持ち帰り、今後の活動につなげる。  
ただし、意見交換会の議事要旨は容リ協 HP 等にて公開する。

#### 3. 実施状況（予定含む）

第1回 WG テーマ：再商品化事業者における複合素材／塩素系プラスチック他の混入による影響  
(H22年12月2日) 再商品化事業者、再商品化製品利用事業者からのプレゼンテーション

第2回 WG テーマ：自治体の分別の現状と事業者（容器製造事業者）の環境配慮設計思想  
(H23年3月30日) 自治体、容器製造事業者からのプレゼンテーション  
一般市民向けアンケート（インターネット調査・協会ホームページ調査）  
再商品化事業者向けアンケート（協会システム調査） 結果報告

第3回 WG テーマ：容器利用事業者（特事）における容器選定と消費者として求めたい情報  
(H23年5月) 容器利用事業者、市民(団体代表)からのプレゼンテーション

#### 4. 参加メンバー

学識経験者、再商品化事業者、再商品化製品利用事業者、自治体、容器製造事業者、容器利用事業者、リサイクル推進団体、流通事業者、市民団体等の9主体・18名で構成。 以上